

関係各位

大阪府環境農林水産部農政室長

病虫害発生予察情報について

標記について下記のとおり発表したので送付します。

病虫害発生予察 特殊報 第3号

- 病虫害名 : ヨコバイ科の一種 (和名なし) *Singapora shinshana* (Matsumura)
- 発生地域 : 大阪府中部・南河内地域
- 寄生作物 : スモモ、モモ、ウメ
- 発生の状況
 - 令和2年9月、中部地域のスモモと南河内地域のモモで、葉を加害するヨコバイ類を確認した(図1)。
 - 採集した個体を神戸植物防疫所に同定を依頼した結果、いずれもヨコバイ科の一種 (和名なし) *Singapora shinshana* (Matsumura) であると同定された。
 - その後の調査により、南河内地域のウメでも発生が確認された。
 - 府内では本種の農作物での発生確認は初めてである。
 - 本種は、国内では、沖縄県、和歌山県、徳島県、埼玉県および京都府で確認されている。海外では、中国、台湾、韓国および北朝鮮で確認されている。
- 形態
 - 本種の成虫の体色は黄緑色で(図2)、体長は3.0~3.5mm。複眼は黒色で、頭頂部に黒点がある(図3矢印部)。
- 被害
 - 本種は、ウメ、モモ、ナシ、リンゴ等のバラ科果樹の他、サンザシ、ポポー、ポプラ等を加害する(Caoら、2014)。
 - 本種は、幼虫及び成虫が葉を吸汁加害し、吸汁痕は白く残る。このため、多数の加害を受けた葉は全体的に緑色が薄く、白っぽく見える(図4)。激しく加害された葉は落葉するとされている。なお、被害が見られる葉の裏側には幼虫の脱皮殻が付着していることが多い(図5)。
- 防除方法
 - 本種に対して適用のある農薬はない(令和2年10月28日現在)。
 - 発生および被害の早期発見に努め、発見した場合は寄生している葉ごと速やかに除去し、適切に処分する。



図1 モモ葉裏の成虫



図2 成虫拡大

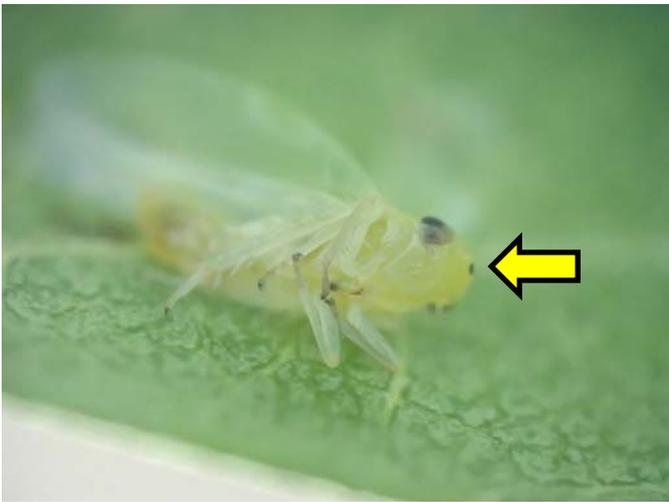


図3 頭頂部に黒点がある



図4 白くなった被害葉（ウメ）



図5 モモ葉裏の幼虫脱皮殻